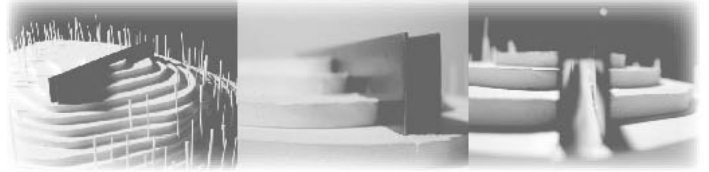




地

人が生活する平野部と生活とは離れた丘陵地、
自分が生活する環境、
さらに殖民区画の先に連なる山々と地平線。

その広がりにより、人は自然の広がりを感じる。

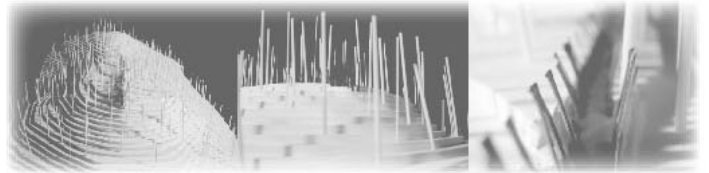


樹（木）

防風林や丘陵の樹木は平野部の人に季節を与える。

頂上へと続く尾根沿いに針葉樹林が広がる。

人は垂直に伸びる針葉樹林の中を、連続化したシーケンス
の中で断片化された樹木の存在を確認し、
静寂の中での静かな音を目にする。



水（川・池）

生活用水、農業用水の原点となり、用水路やため池に流れ込む。

生活の身近な存在である水のの流れの原点を見直す。

建築は根源的な水の流れにより引き裂かれ、
水の溜りの一つとして存在する。

人は水を生活の近くで五感で感じる。



霧

朝、夕に平野部や谷部に発生する霧は、時間、
季節によって変化する。

丘陵の谷にも同様に霧は発生し、谷を下っていく。

霧という姿で顕在化された大気の流れは建築を透過し、
人は自然の呼吸を気づく。

